



## 第2日目(7/16) 現地1日目 午後はまわらす 田んぼの整備・草取り作業



[速報ページへ](#)

[午前のページへ](#)



東日本大震災・津波の影響で、子供たちが海で遊べなくなっている、といことで、子供が海で遊べるようにするための活動をしている「はまわらす」の活動に参加しました。こどもたちが作っている田んぼの整備作業ということで、無農薬の田んぼの草取りと周辺整備と畔整備のお手伝いをしました。



おいしくお弁当タイム



草取り作業開始



草取り作業開始



草取り作業



宮西先生も頑張ってます



草取り作業



どんどん取ってます



かなり減りました



Before(作業説明)



After(きれいに)



沢できれいに



給水タイム

## 生徒たちのふりかえり (2)

### 2年伏原

今日は「陸前高田市東日本大震災遺構・伝承館」と「気仙沼こどもPO 浜わらす」さんの田んぼ、そして「防災庁舎」へ行ってきました。伝承館では岩手県の被害について詳しく知ることができました。始めに見たのは橋桁や消防団の車など、実際に被災した物でした。橋桁は土もあるのに押し波で300m以上も上流へ流されたらしいです。そして消防団の車の所で消防団の被害について聞きました。去年と同じことですが、避難誘導が消防団員さんの死亡理由として一番多く、何故かと言うと避難を拒む人が少なかったからです。自分が避難することで消防団員さんだったり近所の人々を救うことができるというのを聞いて、余計に避難の大切さを知りました。また、私の家にもある、ドアに貼って避難したことを伝えるシートはそういう局面で大変役に立つものだとも思いました。その後実際の津波の映像を見ました。そこで死者数や行方不明者数が町ごとにてしていたのですが、その死者数400を超えているところもあり行方不明者数を合わせると1000人をこえていました。分かっていたことだったけど、改めて数字を見るととても多くの方が犠牲になったんだよな。と思いました。また、波が海上を進んだスピードが時速100km程、陸上でも時速36km程でこれでは走ってではとてもではないけど逃げられないと聞いた時、先日気仙沼の震災遺構で語り部さんが「東日本大震災の津波はゆっくり進んでいて、予想されている南海トラフ地震で発生する津波はきつともっと速いから参考にしないでください。」と言っていたのを思い出し、津波って恐ろしいなと再度確認させられました。その後も館内の展示物を沢山見ました。自衛隊や警察、病院に市役所の無線などピンポイントでのストーリーが書かれているところでは見入ってしまいました。伝承館を出たら「奇跡の一本松」を歩いて見に行きました。松の前にあるホステルをよく見えてきましたが、街が全てなくなってしまったような津波でよくこれだけが残ったな、というような感じで、骨組みだけでなく壁や室外機も残っていました。やなせたかしさんと一本松とのエピソードも面白かったです。伝承館を一通り見終えたら次は浜わらすさんの田んぼでの草むしり作業が待っていました。素足で入る田んぼはすぐ近くの沢の水を引いているので冷たくて気持ちよかったです。

### 2年比嘉

岩手の東日本大震災津波伝承館で震災、津波の被害者の人の残された言葉に津波は「形あるものは津波で流されたけど気づいたら命と思いは残った」とあり印象に残った。人は形があるものばかりを見て壊された家とかを見て悲しくなったり嫌になったりするけど自分は生きていって大切なことに気づけるのはすごいことだなと思った。

### 1年小椋

岩手寒かったです。津波記念館で解説を聞いている時に、近くにいたおばあさんが顔を歪めながら頷いていて、ちゃんと聞こうと改めて思いました。綺麗な建物は流されたあと、新しく立った建物なのかな、とか思いながら町を見ました。解説聞いたから、堤防に登った時、悲しくなりました。でも、被災地の「繰り返さない」って覚悟もものすごく感じました。私も、津波かどうかは分からないけど1回目も逃げる人でいたい。津波って来る前に潮が引くらしいけど、引かなかったから逃げなかった人がいたらいいです。でも、災害の時って何を信じたらいいかわからないなと思いました。昔の人の経験を信じてダメで、自分を信じてダメで、かといってニュースを信じたら津波はそれより高く、ちょっと難しいです。とにかくめっちゃ用心します。